



2020年11月10日

各 位

会 社 名 中央化学株式会社

代 表 者 名 代表取締役社長 社長執行役員 近藤 康正

(コード番号 7895)

問 合 せ 先 総務人事部 部長代行 三膳 一志
役職 氏名

電 話 048-542-2511

第2四半期累計期間業績予想と実績値との差異および通期業績予想修正のお知らせ

2021年3月期第2四半期累計期間業績につきまして、2020年8月12日に公表しました業績予想との差異が発生いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。また、併せて2021年3月期通期業績予想について下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正等について

2021年3月期第2四半期連結業績予想数値との差異(2020年4月1日~2020年9月30日)

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回予想(A)	24,600	600	400	300	円 銭 14.89
今回実績(B)	23,853	1,158	1,105	964	47.87
増減額(B-A)	△746	558	705	664	
増減率	△3.0%	93.2%	176.5%	221.5%	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2020年3月期第2四半期)	24,743	607	309	241	11.98

2021年3月期通期連結業績予想数値の修正(2020年4月1日~2021年3月31日)

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想(A)	48,400	1,300	1,000	800	円 銭 39.70
今回修正(B)	47,600	1,800	1,700	1,400	69.48
増減額(B-A)	△800	500	700	600	
増減率	△1.7%	38.5%	70.0%	75.0%	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	48,034	1,107	751	479	23.78

2021年3月期第2四半期個別業績予想数値との差異（2020年4月1日～2020年9月30日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
				円 銭
前回予想（A）	21,000	200	100	4.96
今回実績（B）	20,658	603	538	26.75
増減額（B－A）	△341	403	438	
増減率	△1.6%	201.9%	439.0%	
（ご参考）前期第2四半期実績 （2020年3月期第2四半期）	21,842	257	196	9.74

2021年3月期通期個別業績予想数値の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
				円 銭
前回予想（A）	41,700	700	500	24.82
今回修正（B）	41,400	1,100	900	44.67
増減額（B－A）	△300	400	400	
増減率	△0.7%	57.1%	80.0%	
（ご参考）前期実績 （2020年3月期）	42,203	354	95	4.76

2. 修正等の理由

（1）第2四半期累計業績予想と実績との差異

当第2四半期連結累計期間の業績は、国内では、コロナ禍でのライフスタイルの変化から、テレワークの普及、学校教育のオンライン化等で巣籠り生活が広まり、テイクアウト、フードデリバリー等中食・内食向け需要が急増しましたが、イベント、外食、観光、インバウンド等向け需要の落ち込みが大きく、売上高は当初予想を下回りました。一方で、原材料価格の下落、業務効率化の推進等により、経常利益、四半期純利益ともに当初予想を上回る結果となりました。

中国でも、経済活動全般に制限があったものの安定操業を継続し、国内同様巣籠り需要の拡大、原材料価格下落等により、業績は堅調に推移しました。この結果、売上高は当初予想を下回ったものの、各利益項目とも、当初予想を上回る結果となりました。

（2）通期業績予想

今後の事業環境については、新型コロナウイルス感染再拡大、日本経済・世界経済の先行き等不透明要因が想定されるものの、下期については、先に発表した数値の通りで推移すると予想しております。以上を踏まえ、2021年3月期の通期連結業績予想を上記の通り修正いたします。

（注）上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって上記の予想とは異なる結果となる可能性があります。

以 上